

お家困ったにおいで！ (株)さくら

無料

少人数制

「おうち何でも相談会」

10/18(日) 10時～15時 さくら本店にて

コロナ禍において、今秋の恒例パナソニック合同展示会も中止のお知らせが届きました。そんな中、さくらのお得意様にだけお声掛けして、少人数制の『おうち相談会』を開きます。感染予防対策を万全に施してプランを練りました。ささやかではありますが、当日ご来場のお楽しみもご用意しましたので、ご案内もうしあげます。

当日ご来場のお客さまへの特典

LINE

■家電購入 または リフォーム工事

のご成約で
最大**10%割引**
その場でくじ引き！

■受付にてLINEお友達登録

していただくと
「ほっこりブーケ」
をプレゼント！



画像はイメージです。

同時開催！ 聞こえの相談会



☎要予約！

詳しくは別紙ちらしをご覧ください。

無料

※ 大阪府の感染者状況を踏まえての企画となりますので、急遽中止となる場合があります。ご了承ください。



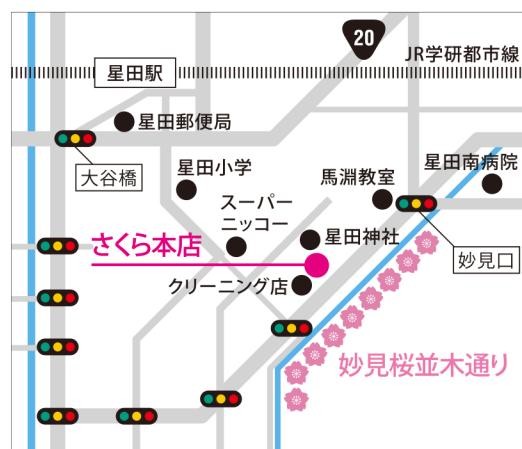
口本店
〒576-0016 大阪府交野市星田2丁目25-1
TEL 072-891-4501 FAX 072-892-1671

交野市さくらリフォーム 検索



さくらHJP

口青山店
〒576-0066 大阪府交野市青山3丁目2-19
TEL 072-845-4580 FAX 072-845-4581



かたちのない たいせつなモノ

2020年
10月号
Vol. 73

顔
信



●「交野ライオンズ」定例会にて

10月に入り、朝晩涼しくなりました。
「コロナと共に生活していく暮らし」が定着し始め、世間は少し落ち着いてきたように思います。とはいえ秋冬は感染者が一気に増えると言われていますので、日々の予防は皆さんくれぐれもご注意ください。感染予防については、スタッフ一同、より引き締めて対策しております。安心してご相談ください。

さて、先日私が所属する「交野ライオンズ」の定例会があり、今年度の会長さんが、地域活性、団体の支援のために、世界でもご活躍されている地元出身の仲間を呼んで、フィルハーモニー「弦楽三重奏」のミニコンサートを企画してくれました。演奏は「情熱大陸」など5曲で、短い時間ではありましたが、私を含め会場の10名は、力強い奏に一瞬で引き込まれていました。

世の中では必要最低限の有形の「モノ」が優先され、ご存じの通り、無形の文化、祭礼、芸能の衰退が嘆かれています。見えないモノほど背景には「人の想い」、長きにわたる「伝統」が詰め込まれています。今回久しぶりに「生」の演奏に触れたことで、改めて見えないモノ、文化の力を強く感じました。

話は変わりますが、私自身30代の後半から企業活動以外で、地域とのつながりを深めるために、環境フェスタ、交野祭り、枚方祭り、ふれあい祭り等々を主催する「青年会議所」「商工会議所青年部」「交野みらいの会」に属し、行政、団体、企業、学校、自治会の方々と交流してきました。そこでは、地域で活躍される方々の『顔』『声』が肌感覚で得られ、共感することができ、新しいアイデアやたくさんの学び、気づきをいただいています。

企業活動においても有事では、有形のモノが優先されがちです。私たちも、めまぐるしい環境の変化、ニーズに対応するための効率化が優先されやすい状況ではありますが、地域の皆さまにいつでも安心していただけるよう『顔』が見える企業でありたい、無形のモノ＝『信頼』をていねいに築いていくことを第一に、肝に銘じていきたいと思っています。

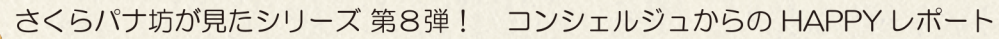
見えたほうがよいモノ＝『顔』

大切にしたい見えないモノ＝『信頼』

今後とも、スタッフ一同
よろしくお願いいたします。

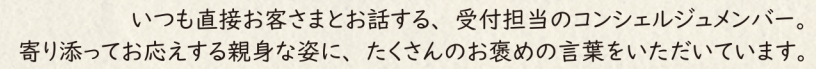
さくら代表 吉村 健二





6月のさくら通信で手作りマスクの作り手さんを募集したところ、100枚を超えるマスクがお店に届きました。ちっちゃいことでも、何か繋がってできることあるんじゃないかと、とりあえず始めてみたんです。こんなに嬉しいことがさくらのお店で起こるなんて！スタッフみんなは感激の毎日です。手から手へ。

ボランティアで作ってくださった方々への感謝の気持ちも込めて喜んでいただてる嬉しいお声をご報告します。



コンシェルジュの白猪です。

作り手の N さまは、縫製のお仕事経験がある男性で、現在は某紳士服メーカーのマスク制作を請け負っておられます。

ボランティアの話を奥さまからお聞きになり、ご自身のノウハウでお役に立つのなら協力したい、と思ってくださったそうです。手作りマスクは男性用が少ないこと、着け心地の良い素材をよく知っている経験を活かして、男性用のマスクも寄付していただきました。



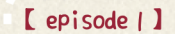
作り手のTさま、実はさくらのお客さまではなく、インスタで繋がっている方です。

インスタのアップ画像から、手作りが好きでマスクも制作されていることを知り、ボランティアをお願いしました。ご自身が大阪市内にお勤めで、社内はもちろん通勤電車内も全員マスクをしているお話をして下さいました。

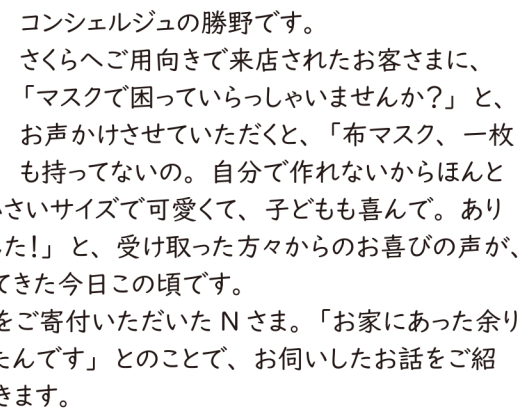
そのお話の中で、紙のマスクにストレスを感じながらも、スーツに似合う布マスクが買えていない女性がたくさんいることや、オフィスでは花柄の可愛い布マスクは使いづらいから、仕方なく紙のを使っている人も多いと仰っていました。

Tさまが提供して下さった手作りマスクは、白いガーゼ素材で、顔のサイド部分に同じ白色の立体感のあるお花のレースが施されていました。

派手さがなくシンプルなので、お仕事の場面でも使いやすいデザインでした。



お近くの〇様。マスクせずに来られ、
お店前で紙マスクをつけて入店されました。
とても暑い日で「マスクは暑いもう嫌だ。でもつけな
いといけないし…」と辛そうにされていたので、
「紙マスクより風通しもいいし汗も吸うので快適ですよ」
と薄手の布マスクをお渡ししました。
お孫さんたちも毎日学校で大変そうということでしたの
で、子ども用マスクも2枚ほど一緒に。
「ありがとう！」と、とても喜んでいただきました。



勝野：お子さん用の手作りのために購入した生地の余りで作っていたのだと聞きましたが、以前から手作りは好きだったのですか？

Nさま：出産してから子どもの小物の手作りを始めました。

勝野：赤ちゃんのスタイとか？

Nさま：そうです！最初は手縫いで。夫にミシンを買ってもらってからは使わなきゃ！ってなって。そのうちだんだん手作りの幅が広がり、カバンとかも作るようにになりました。作っていると制作中だけでなく、生地選びも楽しい。かわいい生地を見つけたら、とりあえず購入して「何を作ろう？」って。

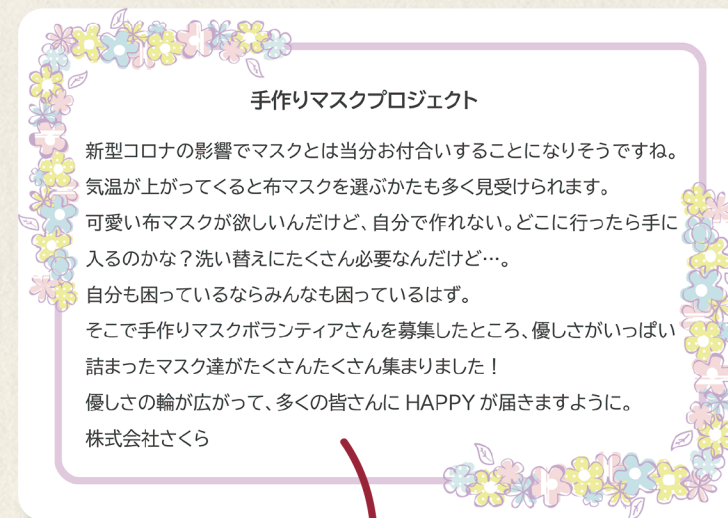
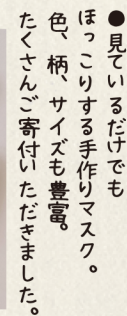
勝野：マスクを数多く作っていただきましたが、大変ではなかったですか？

Nさま：でき上がりの達成感もあるので楽しかったです。

勝野：ボランティアの情報には常日頃からアンテナを立てていらっしゃるのですか？

Nさま：日常生活の合間で、私にできることであればと思っています。

勝野：Nさまのマスクはサイズや柄が豊富で、特に子ども用はママさん達にとっても喜ばれています。



手作りマスクプロジェクト

新型コロナウイルスの影響でマスクとは当分お付き合いすることになりそうですね。

気温が上がってくると布マスクを選ぶかたも多く見受けられます。

可愛い布マスクが欲しいんだけど、自分で作れない。どこに行ったら手に入るのかな？ 洗い替えにたくさん必要なんだけど…。

自分も困っているならみんなも困っているはず。

そこで手作りマスクボランティアさんを募集したところ、優しさがいっぱい詰まったマスク達がたくさんたくさん集まりました！

優しさの輪が広がって、多くの皆さんに HAPPY が届きますように。

株式会社さくら

【 episode 3 】

不器用なので自分で布を買ってマスクを作るのはハードルが高くてと諦めていた方が、思わぬところでボランティアのマスクをもらえてすごく嬉しいと喜んでくださいました。

たくさんの布マスクが入ったカゴを見せた時に「優しい人がこんなにもたくさんいるんですね」とボランティアに感動されていました。

「さくらさん、ボランティアまでやってるんやね、びっくりした。」と驚かれたお客さまも。



●お店の入り口の
ご案内ボードにも…

